|  |
| --- |
|  |

**資料　18（朱書箇所、ページ数は消去すること。）**

**博士学位論文調査報告書**

論文題目 （外国語の場合はその和訳を(　)を付して併記すること）

申請者　　京都太郎

学歴　　平成○○年４月　　○○大学○○学部○○学科入学

（または大学と同等以上の課程から記載すること）

平成○○年３月 同上卒業

令和○○年４月　　京都大学大学院工学研究科○○専攻修士課程入学

令和○○年３月 同上修了

令和○○年４月 同上博士後期課程進学

令和○○年３月 同上研究指導認定見込み又は退学

調査委員　　京都大学大学院工学研究科

教授　　　○　○　○　○

京都大学大学院工学研究科

教授　　　○　○　○　○

京都大学大学院工学研究科

教授　　　○　○　○　○

（備　考）博士課程教育リーディングプログラム修了予定者は、備考にプログラム名を記入してください。 (例)グローバル生存学大学院連携プログラム

**学識確認のための試問の結果**

**（論文博士のみ必要：課程博士の場合はこの上の行から以下を削除）**

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 京大太郎 |
| （試問の科目・方法・判定）  （科目）　　　　　　（方法）　　　（判定）　　　（備考）  ○○○○○○　　　　　口頭　　　　　合格  ○○○○○○　　　　　　〃　　　　　　合格  ○○○○○○　　　　　筆答　　　　　合格  ○○○○○○　　　　　　〃　　　　　　合格  ○○○○○○　　　　　　〃　　　　　　合格  外国語（英語）　　　　筆答　　　　　合格　　　　　※外国語は学部卒業者のみ課す  （試問の結果の要旨）  上記のとおり、専攻学術(及び外国語)の学力に関する試問の結果、本学大学院  博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認した。  令和　　年　　月　　日  試問担当者氏名  ○○○○○、○○○○○、○○○○○  ○○○○○、○○○○○ | |

（ 続紙 １ ）

**※注意事項**

・論文内容の要旨と論文審査の結果の要旨は１頁を３８字×３６行で作成し、合わせて、４,０００字を標準としてください。

**なお、本学学術情報リポジトリ紅に掲載の都合上、 論文内容の要旨(続紙１)は２頁、論文審査の結果の要旨(続紙２)は１頁が標準です。**

・論文内容の要旨を英語で記入する場合は、４００～１,１００wordsで作成し、審査結果の要旨は日本語５００～２,０００字程度で

作成してください。

**このテキストボックスは最終的には消去して提出願います**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 京都大学 | 博士（　　　　　学） | 氏名 |  |
| 論文題目 |  | | |
| （論文内容の要旨）  　本論文は、ダイレクト・ドライブ（Ｄ・Ｄ）ロボットの位置制御と力制御に関して新しい制御方法を考案し、制御系の設計法を論じた結果をまとめたものであって、５章からなっている。  　第１章は序論であり、・・・・・・・・・・・ | | | |

| 京都大学 | 博士（　　　　　学） | 氏名 |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単一自由度のＤ・Ｄロボットについて実験を行い、インピーダンス制御における力の微分のフィードバックは、力の安定化のために有効な手段であることを実証している。  　第５章は結論であり、本論文で得られた成果について要約している。 | | | |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| （続紙 ２ ） | | 氏名 | 京都太郎 |  |
|  | （論文審査の結果の要旨）  　本論文は、ロボットの関節の駆動系に減速機を用いないいわゆるダイレクト・ドライブ（Ｄ・Ｄ）ロボットの位置制御と力制御について、実用的制御系設計法の確立を目標に研究した成果についてまとめたものであり、得られた主な成果は次のとおりである。  　１．Ｄ・Ｄロボットにおいては・・・・・・・・  （記述例１）→**この記述に沿って作成してください**  （課程博士の結句：この括弧書きは消去）  ・・・・　　本論文は、 ・・・・・・・・・・・・ 、学術上、実際上寄与するところが少なくない。よって、本論文は博士（工学）の学位論文として価値あるものと認める。また、令和　年　月　日、論文内容とそれに関連した事項について試問を行って、申請者が博士後期課程学位取得基準を満たしていることを確認し、合格と認めた。  （論文博士の結句：この括弧書きは消去）  ・・・・　　本論文は、 ・・・・・・・・・・・・ 、学術上、実際上寄与するところが少なくない。よって、本論文は博士（工学）の学位論文として価値あるものと認める。また、令和　年　月　日、論文内容とそれに関連した事項について試問を行った結果、合格と認めた。  （記述例２）→**要約公表を選択した場合追記してください**  なお、本論文は、京都大学学位規程第１４条第２項に該当するものと判断し、公表  に際しては、（\*令和○年○月○日までの間）当該論文の全文に代えてその内容を要約  したものとすることを認める。 | | |

要旨公開可能日：　　　　　年　　　月　　　日以降　→授与日より3ヶ月以内の日付

〔注〕

１．（記述例１）を参考に、論文審査の結果の要旨の結句には学位論文の審査についての認定を明記するとともに、試問の結果の要旨を付け加えてください。

２．論文の公表方法を京都大学学位規程第１４条第２項（要約公表）に該当するものと判断する場合は、（記述例２）を参考に記述してください。全文公表に切り替える日が決定している場合は、\*印の（　）にご記入ください。全文公表に切り替える日が未定または無期限での要約公表の場合は、（　）ごと削除しください。なお、工学研究科では論文内容の要旨を学位論文の要約に代用しています。また、全文公表に切り替える際は、学位授与者より様式15「学位論文全文データ公表報告」をご提出いただきます。

３．論文内容の要旨及び審査結果の要旨は、本学学術情報リポジトリ（KURENAI 紅）に掲載し、公表します。特許申請、雑誌掲載等の関係により、学位授与後即日公表することに支障がある場合は、欄外の「要旨公表可能日」欄に、公表可能とする日付を記入してください。 （ただし、学位規則第８条の規定により、猶予期間は学位授与日から３ヶ月以内となります。）

４．論文は、全文公表・要約公表いずれの場合でも学位授与日から１年以内に公表されますが、３のとおり、論文内容の要旨及び審査結果の要旨は学位授与日から３ヵ月以内に公表されますので、特許申請、雑誌掲載等に関係する場合はご注意ください。

**－このテキストボックスは最終的には消去して提出願います－**

**〔文書データ作成の注意事項〕**

**〔文書データ作成の注意事項〕**

**１．文書データの形式**

下記のうちのいずれかでお願いします。

○Windows

Microsoft Word（docx形式）

○リッチテキストファイル形式（rtf形式）

※なお、これらによりがたい場合は、テキストファイル（E-mailに直接入力されている場合を含む）でもかまいません。

**２．提出方法**

メールの添付ファイルとし、附議する研究科会議代議員会議の２週間前までに教務課大学院掛あて送付願います。

○メールアドレス： 090kdaigakuin@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

なお、教務課に提出いただく際には、メールに以下の項目を付けてください。

○申請者氏名 及び 課程博士・論文博士の別

○調査委員代表者氏名

○調査委員代表者のメールアドレス

〈例〉

申請者氏名　　　　　　　　　　　○○　○○　（課程博士･論文博士の別）

調査委員代表者氏名　　　　　　　◇◇　◇◇

調査委員代表者メールアドレス　　abcde@fghij.kyoto-u.ac.jp

ronbun.docx

文書

ファイル

**３．文書データについての注意事項**

外字や特殊文字等、文字化けする可能性のある文字は使用しないでください。

文字ポイントは10.5ポイントを基準とし、半角、1/4角、上付・下付文字を除き、他の大きさの文字は使用しないでください